

農業版事業継続計画書 簡易版

策定・改定日	2022/2/28	従業員・家族共有日 (原則策定・改定日から1ヶ月以内)	2022/3/31	次回改定予定日 (原則1年毎に改定)	2023/3/31
想定リスク	自然災害(台風、地震)				

1. 基本方針

緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

1	従業員とその家族の命、生活を守る。
2	市場への供給責任を果たす。
3	自社の経営を維持する。

2. 重要業務と目標復旧時間

以下の業務の復旧を最優先とし、目標復旧時間内の復旧を目指す。

重要業務	搾乳・加工・店舗(牛乳を使ったメニューを提供)業務
目標復旧時間	直ちに(12時間以内)

3. インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等)

種別	影響	対応(代替手段等)
電気	(搾乳機が動かないため)搾乳ができない	自家発電機(軽油)
ガス	(お湯が出ないため)搾乳後のパイプラインの洗浄ができない	備蓄しているプロパンガスで対応可能
水道(農業用水含む)	飼養管理ができない	井戸水の利用
情報通信	取引先に連絡がとれない	携帯電話、インターネット
交通	集乳車、飼料運搬車の運行ができない	備蓄飼料の利用や、業者と事前に集乳や配送の代替ルートを調整
ほ場等	乳用牛と子牛の避難が必要	牛舎に隣接する運動場に避難する
その他	* 現在店舗並びに加工設備(冷凍庫など)の代替電源は無いため、今後導入を検討。	

4. 事前対策の実施状況

分類	項目	
ヒト	安否確認手段	携帯電話(LINE) 連絡体制 社長から全員に安否確認連絡
	避難場所	●学校(200m南)
	欠員時の対応	徒歩圏の家族とパートで補充し合い対応する 社員●名、パート●名(牛舎業務)、パート●名(店舗業務)
モノ	設備使用不可時の対応	搾乳機が破損した場合には、メーカーが直ぐに対応してもらえる体制ができています
	調達支障時の対応	常時より飼料10日分、燃料1週間分以上のストックがある状態にする
	その他	
カネ	手元資金	必要運転資金を常に保有している
	その他	備考
セーフティネット	保険加入	火災保険、家畜共済、農機具の共済
	その他	備考
情報	重要情報保管場所	会計データ:税理士事務所 生産データ(飼料計算、作業日管理等):携帯、パソコン
	IC等使用不可時の対応	バックアップデータを●が管理
地域連携	その他	関係機関の連絡先や担当者を把握し、連絡担当者が携帯電話などに保管

5. 緊急時の体制

総括責任者(代理者)	事業継続担当責任者(代理者)
会長	代表取締役

【初動対応フェーズ】(目安:緊急事態発生~24時間以内)

○状況確認

確認対象	担当者
役員・従業員 家族を含めた安否確認	会長
建物・設備 ITを含む状況	代表取締役
その他事業資産 肥料・飼料・農業等の在庫	会長
取引先 状況確認	代表取締役
インフラ 電気・ガス・水道・交通等の状況	代表取締役
その他	

○備蓄品の状況

品名	数量	その他	数量
救急箱	2セット	その他:簡易トイレ	20セット
飲料水	2Lx20本	その他:懐中電灯	5個
食料	従業員x7日分	その他:毛布	5枚
ヘルメット	5個	その他:	

○出勤・帰宅ルール

状況	原則ルール
出勤時	【原則】隣接する事務所に待機
在宅時	【原則】自宅待機(極力連絡がとれる状態に)
その他	【原則】一番近くの安全な場所で待機

【事業継続フェーズ】(目安:初動対応完了後~)

○重要業務継続の具体的方法

対応手順	担当者
①現状把握(発生~3時間以内) ・乳用牛の被害・健康状態の把握 ・加工設備・店舗の確認 ・施設・搾乳機・保管設備等の被害確認 ・従業員の安否及び作業対応の確認 ・非常用電源の確保 ・集乳業者における集乳状況の確認 ・保険会社への連絡	責任者:代表取締役、取締役 牛舎は取締役、加工設備、店舗は代表取締役が担当
②作業準備(発生~10時間以内) ・被災状況に応じた作業方針決め ※使用不可の場合は手作業シフト組 ・従業員への指示 ・取引先への状況報告	責任者:代表取締役、取締役
③搾乳作業(発生~12時間以内) ・搾乳作業の実施 ・被災状況に応じた出荷対応の方針決め	責任者:取締役

BCP策定後の運用 日頃から緊急時における対応を家族や雇用者と話し合ったり、実際に訓練を行っておくことが重要であり、そうすることで緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮できます。また、「1年に1回は見直す」策定したら1ヶ月以内に皆で確認する」などルールを決めて、運用を心掛けることが重要です。